

加茂小学校「学校評価アンケート」集計結果配布について

三寒四温の候、保護者のみなさまにおかれましてはご健勝にお過ごしのことと思います。日頃の本校教育へのご理解、ご協力に深く感謝申し上げます。

さて、ご報告が遅くなりましたが、1月下旬に実施いたしました学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。この結果をふまえ、次年度の教育活動に生かしていきたいと考えています。今後ともご協力よろしく願いいたします。

【児童アンケートより】

- ほとんどの項目で、A「そう思う」B「だいたいそう思う」と答えている児童が80～90%となっている。しかし、その中でも「1学校は楽しいと感じている」で否定的な回答C「あまり思わない」D「まったく思わない」が17%を占めている。本年度は、コロナウイルスの感染予防のため、ほとんどの行事が中止になってしまったことも影響しているかもしれない。しかし子どもたちにとって、一日の大半を過ごす学校が楽しいものでないことには反省し、今後改善しなければならないと考えている。
- 「2授業はよくわかる」では、10%の子どもたちが授業に不安を抱えている現状がある。新学習指導要領の完全実施を受けて、子どもたちが「分かった」「できた」という自信や達成感が得られる授業づくりを心がけているが、さらに主体的に取り組める授業を目指すとともに、つまずきが見られる児童には個別に対応していきたい。学習に関しては家庭学習の定着も大切な要因となるため、引き続き家庭でのご協力をお願いしたい。
- 今年度も学校全体で『KSPかもっこスマイルプロジェクト』の取組を進めてきた。全体として、きまりや学習規律を守り、落ち着いた学校生活を送ることができている。特に全体で取り組んだあいさつ運動には、子どもたちも十分満足をするとともに地域の方からの賞賛も大きい。無言清掃やあったか言葉は、学校全体で同時期に取り組んでいないため、子どもたちの意識が低かったかもしれない。また、教職員の賞賛や声かけも改善していく必要がある。今後も望ましい習慣や行動を続けていける取組を学校全体で行っていきたい。
- 「15自分にはよいところがある」の項目では、C「あまり思わない」D「まったく思わない」の割合が、25%あり課題が残る。自分のよさについて考える時間を意図的にとったり、周りの人から賞賛を受ける場を作ったりという活動を繰り返していくことが大切だと考える。またそれぞれの子どもが活躍できる場を多く提供することが必要であるため、学習形態や活動、学校行事を工夫していきたい。
- 「16進んで読書をしている」でC「あまり思わない」D「まったく思わない」の割合が22%である。活字離れが進み、オンラインゲームやYouTube、SNS等で時間を使う子どもが増えている傾向にある。学力の根底を支える読む力や豊かな心を育てるためにも、読書の習慣をしっかりとつける取組を進めていきたい。
- 「17家でははじめのある生活をしている」のA「そう思う」の割合は、40%に達していない。今年度はコロナウイルス感染症の影響で家庭で過ごす時間が長い。長期休業での過ごし方を含め家庭と連携して家庭学習や読書・運動習慣の形成に努めていきたい。

【保護者アンケートより】

- すべてのアンケート項目において、A「そう思う」B「だいたいそう思う」と肯定的に回答いただき、加茂小教育に対して一定の評価をいただいていると捉えている。しかしながら、本年度コロナ感染症対策で十分できなかった参観授業やPTA活動、コミュニティ・スクールについては低い評価となった。次年度は、感染症対策を行いつつ、これらの活動に取り組んでいきたい。
- 「学校は望ましい人間関係が築けるように努めている」のA「そう思う」は33%に留まった。人権教育を加茂小教育の中心に据え、あたたかい仲間づくりへの取組と教師からの声かけなど一人一人を見つめた教育活動を行っていきたい。
- 学校全体で取り組んできた『KSP』に対する保護者の評価は高まってきている。今後も取組を継続させて、子どもたちのよさを認め励まし、望ましい習慣や行動を定着させていきたい。
- 保護者アンケートの結果およびご意見から、教職員の働き方改革推進についてはほぼご理解いただいていると捉えている。今後も行政の施策や学校の方針について広報を行い、さらなるご理解ご協力をお願いしたい。